

瞬快Ver.11.5系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.11.5a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ESET Endpoint アンチウイルス V6.2 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP4 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	—	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	—	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	制限解除	Windows 10 のコンパクトOS環境での瞬間復元に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	—	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モード中に、修復対象にしたFAT32のドライブ上でVisualStudio2010のVBのプロジェクトを作成し保存する、またはビルドすると0x23のSTOPエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	NTFSのドライブにプロジェクトの作成を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがインストールした32ビットのUEFIのPCでは、修復モードの状態になると、OS起動直前の1～2秒の間、画面左上に瞬間復元ドライバのデバッグ用文字列が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モード中にPhotoshopで画像ファイルの保存を行うと、数回に1回程度の確率で、保存したファイルのアイコンが表示されないことがある。この場合も、保存処理自体は行われており、F5キーを押すことでアイコンが表示されるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	ウイルス対策ソフト連携	エフセキュアのパターンファイルの情報取得処理がタイムアウトで失敗する場合がある。	タイムアウト時間を1秒から3秒に延長しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジューラ機能によるログオン処理のスケジューラでは、ドメインへのログオンが指定できない。	ドメインへログオンできるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista にて複数PC操作のレイアウト編集を実施した際、各クライアントをレイアウト編集画面で選択することはできるが、ドラッグアンドドロップで位置を変更することができない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	利用情報収集機能の稼働チャートで、電源ON/ログオン/ログオフ/電源OFFを繰り返しているにもかかわらずPCがログオンし続けている状態で見えてしまう場合がある。	強制電源断など、PCの電源OFFが正しく検知できなかった場合は、その際の電源ON～電源OFFまでを稼働チャートに表示させないように改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	瞬快サーバを版数アップした後にエクスポートしたデータを、新規インストールした瞬快サーバへインポートさせた場合に、瞬快サーバの版数は同じであってもデータが正しくインポートできない場合がある。	瞬快サーバを版数アップした場合と新規インストールした場合で、データの構造が同じになるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録(手動登録)では、コンピュータ名の先頭文字に数字が使えない。	コンピュータ名の先頭文字に数字を使えるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリの実行結果ログの[CSV出力]を行うと、以下のエラーが発生する場合がある。 SRO00040 (X) ファイルへの書き込みができませんでした。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
	ツール	瞬快サーバのデータを、上位バージョンに移行させるための BzSvMigration.exe が、瞬快V11.5で動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.11.5b	動作環境	サポートOS追加	次のOSをサポート対象として追加しました。 Windows 10 Enterprise 2016 LTSC Windows Server 2016	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP6 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	—	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	—	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	クライアント	機能追加	瞬間復元の簡単設定にて、ジャストシステムの ATOK 2016 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	—	
瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがインストールするPCにおいて、デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっていることを見落として修復モードへ変更してしまうと、OS環境に異常が生じる。	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態では、修復モードへの変更指示を受け付けないようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態で修復モードへの変更は行わないでください。		

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイル・フォルダ単位の修復モードでインストールされたPCでは、Windows8.1のフォトアプリにおいて、カメラで写真を撮影したり、外部媒体から画像のインポートを実行したりしても、その画像が表示されない。 また、ストアアプリの YouCam Mobile for FUJITSU でも、撮影した写真が表示されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	修復モードに切り替えを行う前に、ユーザープロファイルが存在する場合は画像が表示されますが、修復モードに切り替えた後に、ユーザープロファイルが作成される場合は、画像は表示されません。
	瞬間復元ドライバ	修復モードの状態、長期間(半年以上)運用すると、レジストリにキャッシュされているデータが古いままになるため、通知領域アイコンが壊れたり無くなったりすることで、通知領域アイコンからのプログラム起動ができなくなる。	修復モードへ切り替える時に、レジストリにキャッシュされている通知領域のアイコンデータをクリアするようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	本製品DVDの以下のフォルダ内にあるスクリプトを使ってキャッシュをクリアしてください。 Tool¥Scripts¥DeleteIconStreams 使用方法はフォルダ内のReadme.txtを参照ください。	
	瞬間復元ドライバ	Symantec Endpoint Protection(SEP)がインストールされた次の環境の場合、瞬快クライアントをファイル・フォルダ単位の修復モードにすると、SEPのサービスが起動しない。 ・KB3172985 または KB3163018 の更新が適用されている 32bit の Windows10 ・KB3170377 または KB3172614 の更新が適用されている 32bit の Windows8.1	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	修復モード中にI/Oエラーを検知すると瞬間復元ドライバ(skfil.sys)はエラーログをディスクのLBA33に書き込む。 MBRディスクのLBA33は未使用領域であるが、GPTディスクのLBA33はパーティションテーブルとして使用されており、パーティション125~128の情報が書き込まれる。 LBA33にエラーログが書き込まれると、次回起動時よりパーティションテーブル異常と判定し、ディスク異常と通知される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	修復モードへの切り替え時にはディスク先頭領域をバックアップしており、修復無効モードへの切り替え時にはこれをリストアしますので、通常であればLBA33のエラーログは残りません。	
	システムリカバリクライアントインストーラ	システムリカバリクライアントの、新規インストールや版数アップの処理が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	クライアント	有線LANと無線LANの両方を搭載したPCに、瞬快クライアント機能をインストールした場合、有線LANを無効にしなければ無線LANの情報が瞬快サーバに通知されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	スケジューラ機能を使って、クライアントPCへ指示を出しても、指示通りに動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	64bit の Windows7 に瞬快クライアントをサイレントインストールする際、SHA-2証明書に対応している更新プログラムが適用されているにもかかわらず、インストールが中断されてしまう。	サイレントインストールを行う場合は、SHA-2証明書に対応した環境かどうかを判定するための更新プログラム(KB3033929)の適用確認を行わないようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	Windows7 x64に瞬快クライアントをインストールする場合、2015年4月以降の更新プログラムを必ず適用するようにしてください。
	クライアントインストーラ	1台のPCへ、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順にインストールを行うと、リモート画面操作機能の画面転送を受信できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	瞬快クライアント、瞬快コンソールの順にインストールを行ってください。	
	クライアントインストーラ	システムリカバリの[ディスクイメージ配信]もしくは[Windows環境の設定]の処理において、Windows 8.1に対して瞬快クライアントのサイレントインストールを行うと失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	Windows 8.1以外のOSでは発生しません。
	システムリカバリ	システムリカバリコンソール起動時に、次のエラーが発生する場合がある。 ・SRO00095 設定ファイルの読み込みに失敗しました。環境をご確認ください。 ・SRO05123 環境設定ファイルの取得に失敗しました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバを再起動せずに長期間利用し続けると、システムリカバリサーバのデータベースが肥大化する。 これにより、イメージ配信等のサービス実行時に、「リクエストの開始命令の発行に失敗したか、サービスのパラメータエラーが発生しました。」というエラーが発生し、サービスが実行できなくなる場合がある。	システムリカバリサーバのデータベースサイズが閾値を超えた場合に、通知メッセージを表示させるようにプログラムを改修しました。 システムリカバリコンソールを起動したときに、次のメッセージが表示された場合には、メッセージに従いサービスを再起動させて下さい。 「システムリカバリサーバのデータベースが肥大化している恐れがあります。システムリカバリコンソールを終了させてから、システムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動してください。」	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	定期的にシステムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動させてください。	
	システムリカバリ	システムリカバリのサービスの設定において、「アクティベーションが失敗した場合に処理を停止する」のチェックを外している場合、サービス実行時にアクティベーションできない場合でも処理が継続されないといけないが、アクティベーションできない場合には処理が継続せずにエラー終了してしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソールを起動すると、次のエラーが発生する場合がある。 「C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv へのアクセスは拒否されました。」	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	現象が発生した場合は、以下のファイルを削除して下さい。 C:¥ProgramData¥Syunkai Product¥Console¥Manage¥Sro¥client.csv	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	システムリカバリサーバと瞬快コンソールの版数が一致しない場合、システムリカバリのコンソール表示時 次のエラーが発生する。 「指定されたパラメータは正しくありません。引数が範囲外の値です。」 または、 「システムリカバリサーバとの通信が切断されました。システムリカバリ管理機能を終了し、再度起動してください。」	瞬快コンソールを起動したときに、版数チェックを行う処理を追加しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 上、特上	瞬快サーバ、瞬快コンソール、システムリカバリサーバの版数は必ず一致させてください。	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理において、更新プログラムの検索や適用に長い時間を要する場合があります。5時間のタイムアウト時間では処理が終了しない事例が増えています。	WindowsUpdate連携のスケジュール作成時にタイムアウト時間を延長できるようにしました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	WindowsUpdate連携処理が5時間以内で終了するよう、クライアント環境もしくはWSUSにて調整してください。	
	スケジューラ	瞬快のスケジューラ機能で、同時に多台数(100台以上)を同時実行した場合、Windowsが過負荷状態になり、スケジューラが正常動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	同時に実行する台数を少なくしてください。	
	リモート画面操作機能	スクリーンセーバーが動作している Windows 10 のクライアントPCに対して画面転送を行っても、スクリーンセーバーが解除されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
	管理機能	瞬快コンソールの機器管理の一覧にて最新情報を表示した場合、クライアントPCが電源オフであるにもかかわらず、電源オンと表示されてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5a以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.11.5c	動作環境	サポートOS追加	Creators Update 適用済みの次のOSをサポート対象として追加しました。 ・Windows 10 Pro ・Windows 10 Education ・Windows 10 Enterprise	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP7 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション XG に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 MP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 SP1 Patch1 に対応しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	—	
	瞬間復元ドライバ	Office 2013以降のボリュームライセンス製品を除く全てのMicrosoft Office製品では、Officeの自動更新が、Windowsのタスクに登録された「Office Automatic Updates」により自動的に行われるようになっていたが、ファイル・フォルダ単位の修復モード中に、このタスクが動作してOfficeに更新がかかると、更新内容によってはOfficeファイルの管理情報に異常が生じ、Officeファイルが開けなくなる。	クライアント機能を新規インストール時に、タスクスケジューラに「Office Automatic Updates」が登録されていたタスクを無効化させるように修正しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	タスクスケジューラから「Office Automatic Updates」を無効にしてください。	
	瞬間復元ドライバ	UEFI設定時のブートエントリとしての Windows Boot Manager(WBM) が複数登録されたような異常な環境において、修復モードへの切り替えを行うとPCが正常起動しなくなる場合がある。	異常なWBMをスキップするようにし、PCが正常起動されるように修正しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	複数のWBMが登録されている場合は、bcdedit.exe /delete コマンドでWBMをすべて削除した後、次のコマンドを実行し、正常なWBMを登録してください。 bcdboot.exe c:\Windows /L ja-jp	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用を続けていると、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	動作モードを修復モードへ変更した際に、次のような状態になりOSが起動しなくなる機種がある。 【レガシーブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面左上にてカーソルが点滅する状態になる。 【UEFIブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面中央に「Cannot load PreparationOfBootOS」のメッセージが表示される。	【レガシーブートの場合】 ファームウェアの問題を回避し、起動処理を止めないようにプログラムを改修しました。 【UEFIブートの場合】 ファームウェアの問題を回避する設定を可能としました。設定方法については、サポートセンターまでお問い合わせください。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	瞬快クライアントインストール後、修復無効モードにてプリフェッチ・スーパーフェッチの設定を変更しても、修復モードにすると瞬快標準設定に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールにおける機器一覧の表示において、IPアドレスが127.0.0.1となるPCがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	画面補正機能が動作しないアプリケーションが存在する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	MAKを使用した Windows 10 のライセンス認証において、成功しているにもかかわらず失敗と判断する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.11.5b以前 【グレード】 上、特上	なし	

瞬快Ver.11.5系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.11.5c+	瞬間復元ドライバ	レガシーブートのOS環境にVer.11.5cをインストールして修復モードにする場合、機種によっては、次の様な画面表示にて停止し、OS起動しなくなる。 <ul style="list-style-type: none"> ・黒画面にてカーソルが点滅 ・機器メーカーのロゴ画面 ・「Windows を起動しています」の画面 	プログラムを改修しました	【レベル】 Ver.11.5cのみ 【グレード】 共通	なし	Ver.11.5cで既に修復モードで正常動作している場合は、Ver.11.5c+に版数アップする必要はありません。